

平成21年度大津市事務事業評価（二次評価）事業仕分け結果

班 別	第2班	時 間	13:40~14:20
事業番号	13	所管部課名	教育委員会 北部地域文化センター
事業名	北部地域文化センター運営事業		
事業仕分け結果	(5) 市実施 民間委託化		
内 訳	(1) 不要	—	
	(2) 国及び県実施	—	
	(3) 市実施 現行通り	—	
	(4) 市実施 内容・規模見直し	2名	
	(5) 市実施 民間委託	3名	
	(6) 民営化（NPO、地域団体含む）	—	
<p>【事業仕分け判定に係る意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化ホールの開館時間を考えるのであれば民間委託すべきである。</li> <li>・図書館は和邇図書館と統合できないのか、そのあり方を考えるべき。</li> <li>・使用料をもっと徴収すべきである。</li> <li>・共有部分とホールを指定管理することは可能である。児童館や少年センターとホールの管理との切り分けは可能であることから指定管理の方向で検討すべきである。</li> <li>・業務処理の効率化を重視すべきである。</li> <li>・2施設の機能分担をしてから指定管理者を考えるべきである。</li> <li>・和邇文化センターも含めて一体化を図り指定管理者を検討すべきである。</li> <li>・和邇文化センターとの関係を見直し、全体的に考えていくべきである。</li> </ul>			

事業仕分け発言要旨	
コーディネーター・評価者	事業説明者・補助者
	・事業概要説明（省略）
・資料に「直営が望ましいと考える」とあるがその理由は。	・北部地域文化センターは複合施設で、2階に少年センター、児童館となっており各施設の運営時間が異なっている。
・人件費について、正規職員が従事しているのは建物の管理のみにかかっている費用か。図書館や児童館、少年センターにかかっている経費は別か。	・正規職員3名、嘱託職員1名の計4名で図書館は別である。
・少年センターはどのような施設か。	・登校拒否児童や補導児童などの相談で、平成20年度の相談件数は672件である。図書館が管理している視聴覚室を利用することもある。

・少年の対応は。	・少年センターの嘱託職員が対応している。
・相談業務の時のみがOBか。	・教職員のOBが対応している。
・児童館があるために職員でなければならないという説明があったが、その理由は。また、大津市の児童館はすべて直営なのか。	・子ども達の管理責任があるため児童館は直営（職員）で行なっている。
・和邇文化センターについて、将来的には統合を検討しているのか。	・平成18年3月に合併をしており、当時は事業の統合まで考えていなかったが、将来的には色々なことを考慮すべきと考える。
・正式に検討したことはないのか。	・ない。
・平成21年度の正規職員3名と嘱託職員1名の業務について。	・センター職員はホールの受付書類の審査、基本使用料の徴収、日程調整、利用者の苦情対応、予算執行、センター内の広報誌発行、自主事業の事務をしている。
・利用状況からみて正規職員3名は多いのでは。本当に適正か。	・土曜、日曜も開館しており交代制としているため妥当である。催し物によっては21時まで開催されることもある。その場合は勤務時間を午後からとしたりするなど、常時4名が出勤しているわけではない。4名が揃うときは年間で33%~38%ぐらいである。
・21時頃までの催し物がある時のみ嘱託職員に委託することなどは考えていないのか。	・平成21年度から正規職員が4名から3名に減少している。そのため嘱託職員を1名雇用したという状況である。
（コーディネーター） ・ホールは資格を持つ専門職でないとできないと思うがホール職員は正規職員か外部委託の人か。 ・和邇文化センターもそうか。 ・児童館や少年センターも一般職員ではなく専門職員でないと対応できないと思うが、外部委託か。	・外部委託である。  ・同様である。 ・嘱託職員である。 ・資料に記載の従事人数は北部地域文化センター職員である。児童館や少年センターの人数は含まれていない。図書館も別である。
（コーディネーター） ・それならば職員数は多いと思われるが、重要な仕事については嘱託や委託であり、この仕事の方が重要であるのなら職員3名は多いのでは。	・北部地域文化センター職員は図書館も兼務しており、それぞれの勤務日や勤務時間が異なるため、委託すれば複合施設としての管理運営に問題が生じるため、難しいのではないかと考える。

・時間的な問題があるなら、なおさら民間委託して臨機応変に対応させる方がよい。	—
・文化ホールの開館日が他の施設の開館日をカバーしているのでは。	・文化ホールは祝日の翌日が休館となるが図書館は開館している。ただ、文化ホールの職員が図書館も兼務している。
・時間が変わるのであればなおさら民間に委託すれば柔軟な対応ができるのでは。	・職員の出勤体系を変えて対応している。ホールだけでなく民間委託も可能であるが複合施設ということで防災面等も検討しなければならない。
・嘱託職員を含めた4名は理解しがたい。	・4名ではあるが日常は2～3名がほとんどであり、4名が揃うことは3日に1度くらいの割合である。
・和邇文化ホールとの効率的な運用はできないのか。和邇文化ホールはいつ建設されたか。	・建設時期は不明。効率的な運用については今後の検討課題である。
・委託料の舞台進行管理は年間契約か。その時だけの個別契約か。	・年間契約である。
・年間契約であれば舞台が稼動しているのはどの程度か。	・平成20年度については、年間の50%である。そのうち約半数が減免となっている。
・舞台進行をする業者は常駐しているのか。	・そうです。
・併用するともう少しうまく運用できるのではないか。	・今後の検討事項である。